

## 財団法人いばらき文化振興財団

[法人の概要]

平成22年7月1日現在

代表者名	理事長 平山 恒夫(非常勤)	県所管部課	生活環境部生活文化課	
所在地	水戸市千波町後川745	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	<a href="http://www.icf4717.or.jp">http://www.icf4717.or.jp</a>	E-mailアドレス	<a href="mailto:icf-ga2@icf4717.or.jp">icf-ga2@icf4717.or.jp</a>	
資本金(基本財産)	30,000	千円	設立年月日	
			平成4年7月17日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	30,000	100.0%
	2			
	3			
	4			
	5			
その他				
設目的	<p>各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的として平成4年に設立された。</p> <p>平成11年からは、茨城県文化福祉事業団の文化部門を統合し、文化芸術に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及びアクアワールド茨城県大洗水族館(以下「大洗水族館」)の運営を行っている。</p>			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	内 容	
事業1	大洗水族館事業	1,666,905	1,766,483	1,689,448	「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」を基本テーマに、観光レクリエーション施設、地域の文化と経済に貢献する施設、海を通じた環境教育現場としての生涯学習施設、自然保護と種の保存に関する実践・研究施設として、「展示・普及・研究」の3つの機能を相互に連動させた魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営する。
	全体事業に占める割合	69.9%	72.7%	69.5%	
事業2	県民文化センター事業	444,941	422,369	410,043	県の文化芸術振興の拠点施設である県民文化センターの運営、施設の維持管理及び使用料徴収事務を行うとともに、食事等の提供、駐車場の管理を行い、利用者への利便とサービスを図る。
	全体事業に占める割合	18.7%	17.4%	16.9%	
事業3	文化振興事業	271,309	239,521	330,065	個性豊かな県民文化の振興を図るため、文化芸術活動への助成及び文化芸術に接する機会の提供を行うため幅広いジャンルの公演事業を実施する。
	全体事業に占める割合	11.4%	9.9%	13.6%	
その他事業	事業1～3以外	0	0	0	
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	
全体事業		2,383,155	2,428,373	2,429,556	指定管理者
	全体割合	100.0%	100.0%	100.0%	

## &lt; 財団法人いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ &gt;

いばらき文化振興財団は、各種の文化振興事業を行うことにより、個性豊かな県民文化の振興を図り、国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的に設立されました。

文化芸術に接する機会の提供として良質な舞台芸術公演を行うほか、文化活動団体等への支援及び県民の文化活動の拠点施設としての「県民文化センター」の管理運営、茨城の海と自然・世界の海と地球環境を基本テーマとした「アクアワールド・大洗」の運営を行い、県民の皆様から親しまれる魅力ある施設をめざして運営にあっております。

県民文化センターにつきましては、平成18年度から指定管理者の指定を受け、事業面では、歌舞伎・クラシック音楽・オペラ公演など様々な舞台芸術を提供するとともに、古典芸能体験講座・音楽出前講座など参加型事業を行い、文化の担い手の育成に努めております。施設運営面では、貸館の予約受付及びチケット販売窓口を午後7時まで営業するなどサービス向上に努めております。

アクアワールド・大洗につきましては、「ペンギンのお散歩タイム(11/1～5/8)」や企画展「磯あそびのスヌメ(1月～5月)」と題して水族館ならではの視点で、磯の自然環境と多様な生物との関わりを体験可能な展示手法により行うなど、お客様に「見て、触れて、遊びながら楽しく学べる」展示の充実に努めております。

今後とも、県民文化センターとアクアワールド・大洗がお客様に快くご利用いただけますよう、施設の安全管理と事業展開に努めてまいりますので、職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。

平成23年2月 理事長 平山 恒夫

[経営状況] 財団法人いばらき文化振興財団 (単位:千円)

区 分		平成19年度	平成20年度	平成21年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	一般正味財産増加額	2,665,990	2,551,059	2,536,209	△ 14,850	
	経常収益	2,661,265	2,546,531	2,531,311	△ 15,220	
	基本財産運用益	11,514	11,514	11,514	0	
	事業収益	2,516,350	2,400,961	2,384,680	△ 16,281	指定管理料・県委託金等の減
	受取補助金等	103,251	100,575	102,031	1,456	
	その他収益	30,150	33,481	33,086	△ 395	
	経常外収益	4,725	4,528	4,898	370	
	一般正味財産減少額	2,457,193	2,500,040	2,488,496	△ 11,544	
	経常費用	2,456,560	2,499,846	2,488,467	△ 11,379	
	事業費	2,313,377	2,345,781	2,231,971	△ 113,810	水族館施設整備費及び運営費等
	管理費	143,183	154,065	256,496	102,431	職員の退職金給付額の増等
	うち役員人件費	19,074	19,490	20,267	777	
	うち職員人件費	827,859	831,527	831,106	△ 421	
	経常外費用	633	194	29	△ 165	
	一般正味財産増減額	208,797	51,019	47,713	△ 3,306	
指定正味財産増加額	0	0	0	0		
指定正味財産減少額	4,725	4,527	4,898	371		
指定正味財産増減額	△ 4,725	△ 4,527	△ 4,898	△ 371		
正味財産期末残高	2,624,173	2,670,665	2,713,480	42,815		
貸借対照表	資産合計	3,409,385	3,511,652	3,854,414	342,762	
	流動資産	427,562	424,127	717,031	292,904	退職給付・施設整備の未払金増のため
	固定資産	2,981,823	3,087,525	3,137,383	49,858	退職給付引当預金等、増のため
	負債合計	785,212	840,987	1,140,934	299,947	
	流動負債	228,087	217,738	468,642	250,904	退職給付及び修繕負担金等未払額の増
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	557,125	623,249	672,292	49,043	退職給付引当額の増によるもの
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	2,624,173	2,670,665	2,713,480	42,815	
	基本財産充当額	690,000	690,000	690,000	0	
県財政関与状況	補助金	95,951	98,190	97,581	△ 609	
	委託料	371,959	356,503	342,902	△ 13,601	指定管理料・県委託金等の減
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	0	2,300	2,000	△ 300	
	合 計	467,910	456,993	442,483	△ 14,510	
	財政的関与の割合(%)	17.59%	17.86%	17.40%	△ 0.5	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合 計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式	平成19年度	平成20年度	平成21年度	増減P	備 考
収益事業比率	収益事業費/当期支出合計	31.9%	29.9%	27.5%	△ 2.4	
管理費比率	管理費/当期支出合計	3.4%	3.7%	7.4%	3.7	退職給付額の増加のため
人件費比率	人件費/事業活動支出	35.5%	35.0%	35.0%	△ 0.0	
自己収入比率	自己収入/事業活動収入	93.7%	93.7%	93.9%	0.2	
流動比率	流動資産/流動負債	187.5%	194.8%	153.0%	△ 41.8	退職給付未払金増加のため
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成20年		平成21年		平成22年		増減数	増減理由	
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB			
役員	常勤理事・監事	2	0	2	0	2	0	0	・職員数の減は 事務局△1名 文化センター△2	
	非常勤理事・監事	15	1	15	1	15	1	0		
	計	17	1	17	1	17	1	0		
職員	管理職	25	1	25	2	22	2	△ 3	・臨職等の増は 育休代替及び 担い手育成事業等	
	一般職	52	2	51	1	50	1	△ 1		
	嘱託・臨時職員等	88	0	92	0	93	0	1		
	計	165	3	168	3	165	3	△ 3		
当期常勤職員の年齢構成		~20代	30代	40代	50代~	合計	平均年齢	プロパー職員平均勤続年数		
		8	22	16	26	72	43.0	歳	20.3 年	
								プロパー職員平均給与(年額)		6,156.4 千円

[評点集計]

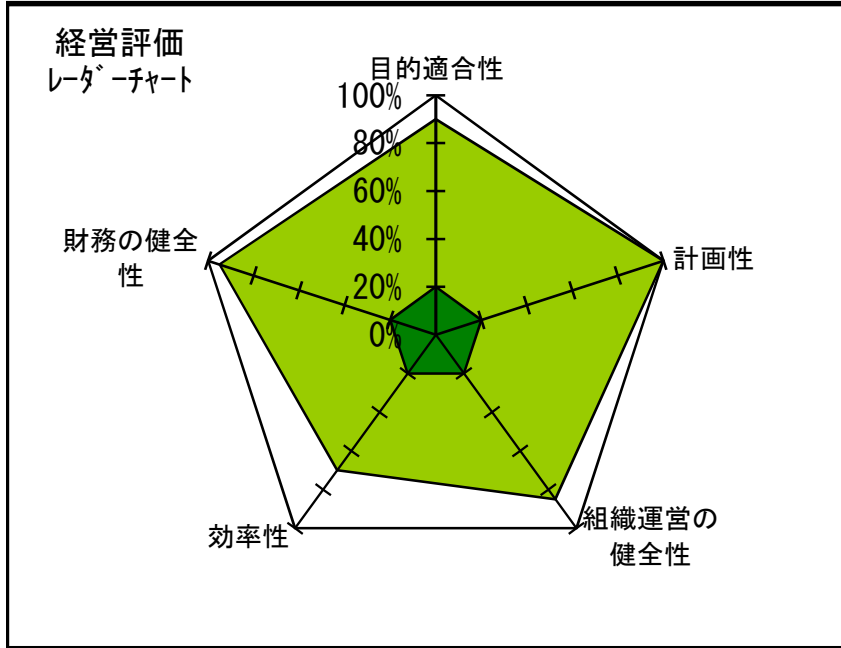
公益法人会計用

財団法人いばらき文化振興財団

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	11	18	20	90.0%
計画性	8	20	20	100.0%
組織運営健全性	9	17	20	85.0%
効率性	11	14	20	70.0%
財務健全性	10	19	20	95.0%
合計	49	88	100	88.0%

警戒指標

--



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
個性豊かな県民文化の振興を図り国際性豊かな文化の県づくりに寄与するため文化振興事業、県民文化センター、大洗水族館の運営等を行っている。施設及び事業への入場者による事業効果・目標達成度の状況から、設立当初と同等の社会的要請があると考えられるので、今後も設立目的に沿った事業運営に努める。	第2期中期経営計画(19~23年度)を策定し、事業別に目標を掲げ運営にあたっており、概ね計画どおり推移している。(H21年度の目標達成度94.3%) 第2期中期経営計画の見直しについては社会情勢の変化や実体にあわせるなど、必要に応じて修正を加える。	事業内容及び予算・決算の状況など、各事業の広報とともにホームページ上で情報公開を行い透明性の確保に努めている。また、コンプライアンス経営の充実についての対応として、法令遵守に関する要項及びガイドラインを制定したほか、個人情報保護に関する内部監査マニュアル等の整備を行った。	役職員数について、常勤職員数で前年度対比3名減(職員△4名、嘱託等+1名)とし、管理職の兼務及び嘱託職員等への振替に努めている。また、補助金収入依存度及び自己収入比率の評点上昇により、効率性の評点が好転している。引き続き職員等の適正配置を行い効率的な運営に努める。	3期連続黒字であり、健全性で当面の課題はないが、財団の経営は、全体予算の7割を占める水族館の運営状況に大きく左右されることから、今後も継続して安定した入場者を維持するため広報宣伝の拡充を図り、事業収入の確保と効率的な運営に努める。
<p>今後の事業展開の方向</p> <p>財団の平成22年度予算規模は、文化振興事業307,736千円、文化センター事業447,767千円、水族館事業2,008,837千円、合計2,764,340千円である。水族館事業の予算規模は財団全体の約70%を占めるため、水族館の運営が財団全体の経営を左右するため、いかに水族館の入場者を確保するかが課題である。このため、メディア等を活用した積極的な広報宣伝を行うとともに、北関東自動車道開通に伴う沿線地域を重点的に宣伝活動を展開するほか、閑散期対策や移動水族館等によるPR活動を行い誘客促進に努め、長期的、安定的な経営を目指すものとする。また、文化芸術に接する機会の提供として実施する公演事業や利用者の利便を図るため実施する県民文化センター自主事業については、収支均衡を保つ運営に努めるほか、県民文化センターの運営については、指定管理者としての役割・職務を踏まえ一層のサービス向上に努める。</p>				

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
本県の文化振興等に寄与しており、設立目的と適合している。また、県民が文化に触れる機会を増やすために、入場料金等を低価格で提供しており公益法人としての役割を果たしていると考えられる。	財務・業績目標の設定がある中期経営計画を策定し、これに基づいた経営が出来ており、定期的な見直し・進捗状況の検証も適正に行われている。	昨年度なかったコンプライアンス経営の取り組みについて要項等を整備したことは評価できる。引き続き、運用面でコンプライアンス経営への取組に、財団とともに取り組んでいきたい。	職員数の抑制に取り組んでおり人件費も抑制されている。補助金収入・自己収入比率の好転で効率性の評点も上昇した。引き続き収入確保と人件費抑制に努め、効率性を高めるようにしていきたい。	3期連続の黒字であり、健全性には問題ないので、引き続き健全性が保てるようにしていきたい。
<p>法人担当課の意見</p> <p>水族館については、入場者数が全国8位の実績であり、「ペンギンお散歩」や「自然観察会」「移動水族館」など積極的な事業運営の結果として評価できる。県民文化センターについても古い施設でありながら平均利用率約81%と高水準を維持しており、文化振興事業においても鑑賞事業のほか普及・育成事業に力を注いでいる。今後、中期経営計画を適切に進行管理するとともに、本県の文化芸術活動の要となるように指導していく。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	H19実績	H20実績	H21 目標値	H21実績	達成度(%)	H22目標値	
経営目標	事業成果	1 1公演当たりの入場率	%	84.6	89	80	81	100.0%	80
		2 水族館の入場者	千人	1,178	1112	1130	1107	98.0%	1130
	健全性	1 流動比率	%	187	195	195	153	78.5%	180
		2 自己資本比率	%	77	76.1	77	70	90.9%	75
	効率性	1 職員1人当たりの事業収入	千円	13,091	12,406	12,000	12,333	100.0%	12,000
		2 職員1人当たりの当期正味財産増減額	千円	1,247	302	262	258	98.5%	250
平均目標達成度							94.3%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	緊急の改善措置が必要	
総合的所見等	<p>大洗水族館の総入館者数は110万人と微減しており、平成19年度以来減少傾向にある。北関東自動車道の全線開通（平成23年3月）や茨城空港開港などの有利な条件を活かした営業の実施や、新たな企画の展開等により、入館者数を確保していくことが必要である。</p> <p>また、施設設備修繕等積立金については、経営評価の所見に基づき、平成21年度決算で積立金の区分を変更したところであるが、細部について県（財政当局）とさらなる調整を進められたい。</p> <p>新公益法人等への移行申請手続きを計画的に進められたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>大洗水族館の入館者確保対策について、北関東自動車道全線開通に向けた誘客対策として、沿線地域の公共施設や集客施設等を重点的にPRしたほか、新たに茨城・栃木・群馬3県の水族館及び動物園がタイアップする「アクアとズー」事業を実施し互いのネットワークを活用して施設の誘客促進を図ることとしている。</p> <p>茨城空港開港関係では、発着便搭乗客に広報活動を行ったほか、茨城空港利用者の入場料50%割引を平成23年度末まで延長し誘客促進に努めている。</p> <p>また、企画展として「ジャングル展」や「シーフード大百科」など、目線を変えた企画展を開催したほか、釜山アクアリウムと姉妹館協定の締結を記念した「交流企画展」の開催などにより誘客促進に努めている。</p> <p>今後も誘客活動を強化し、入館者確保策を財団とともに検討する。</p> <p>施設設備修繕等積立金については、平成21年度に積立区分を変更したところであるが、細部については公益財団法人の認定に向けた諸要件の整備と併せて、財団と協議して調整する。</p> <p>新公益法人等への移行申請手続きについては、認定要件の検証を始め諸手を早期に対応するよう指導していく。</p>				